

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん

息軒だより

一日の計は朝(あした)にあり
一年の計は春にあり
一生の計は少壮の時にあり



令和3年度 6・7月号 (第26号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝 館長 川口眞弘
〒889-1605
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1
TEL:0985-84-0234
FAX:0985-84-2634
e-mail:sokken.yasui@pic.bbq.jp
ホームページアドレス
<https://yasuisokken.jp/>

QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます。

5月1日 令和3年度 安井息軒記念館講座がスタートしました。

安井息軒にちなんだテーマで開講している「安井息軒記念館講座」、令和3年度は全10回の開催を予定しています。新型コロナウイルス感染防止対策のため、検温や手指消毒を徹底し、定員を40名にするなど万全の対策で迎えた第1回・5月1日(土)は、「紙芝居で訪ねる伊東家のルーツ」と題して、絵本・紙芝居作家の田中幸子氏手作りの紙芝居を上演していただきました。演目は「日知屋物語」より、「祐邑(すけむら)編」「薫(かおる)編」「曾我(そが)編」の3本で、情感あふれる読み手の上手さに、琵琶、尺八演奏の効果が加わり、歴史講座をいつもと違ったアプローチで堪能しました。

昔懐かしい“紙芝居”をツールに歴史を学ぶ、という初めての試みは、参加された受講者の皆さんから大変好評をいただきました。

これからも魅力ある内容で企画してまいります。今年度は、各講座ごとの受講申し込みになっています。定員に空きがある講座もありますので、記念館までお問い合わせください。(0985-84-0234)

開講予定表は本紙3ページをごらんください。

(文責：金丸)



開講に先立ち理事長あいさつ



熱心に聴き入る受講者の方々



「読み手」「引き手」「伴奏」三位一体

今年も豊作！清武幼稚園園児が梅ちぎりを楽しみました。

令和3年4月、梅は見事に成長し、立派な梅の実になりました。例年この時期には清武町域の幼稚園、保育園、こども園のよい子たちが保護者の皆さま、先生方と一緒に来館し、梅ちぎりを楽しみます。

その第1陣として4月23日(金)、きよたけ幼稚園の園児たちが来館し、梅の収穫を楽しみました。長距離を歩いてやってきた園児たちは、小休止後館内を見学。おながが空いては…というわけで、まずは昼食、その後梅ちぎりを楽しみました。梅ちぎりの様子をUMKテレビが取材し、夕方のニュースで放映しました。楽しみにして録画を見たら、子どもたちが一生懸命「うめ～うめ～」と言いながら梅をちぎる様子の可愛いこと、そして園児のコメントに感動しました。ある園児は梅の落下を火山の噴火に例えていました。

その後も続々と予約が入っていましたが、残念ながらコロナ禍による休館措置で体験できず…残りは顕彰会会員で収穫をしましたので、梅まつり等の際に、手作りの梅干しの振る舞いをする予定です。

(文責：川口)



令和3年度 夏秋企画展

テーマ 「安井家のルーツを探る」

期間 令和3年7月22日（木・祝）～11月3日（水・祝）

開館時間 9:00～16:30（最終入館16:00）

休館日 月曜日 祝日の翌日の平日



幕末から明治にかけて多くの血を流しながら、日本が近代法治国家として歩み始めた時、そこには安井息軒の学問や思想の影響を受けた多くの新国家建設のリーダーたちがいました。

彼らに多大な影響を与えた学者安井息軒は、飢肥藩清武郷中野に生まれますが、その先祖にはどのような人物がいて、どのようにして伊東氏の家臣となっていたのでしょうか。

中興の祖といわれる安井相右衛門朝秀（そうえもんともひで）を中心に、これまであまり語られることのなかった先祖を取り上げ、偉大な学者を生み出した安井家の歴史をたどります。

令和2年度 企画展「清武と飢肥の時代の安井息軒」より

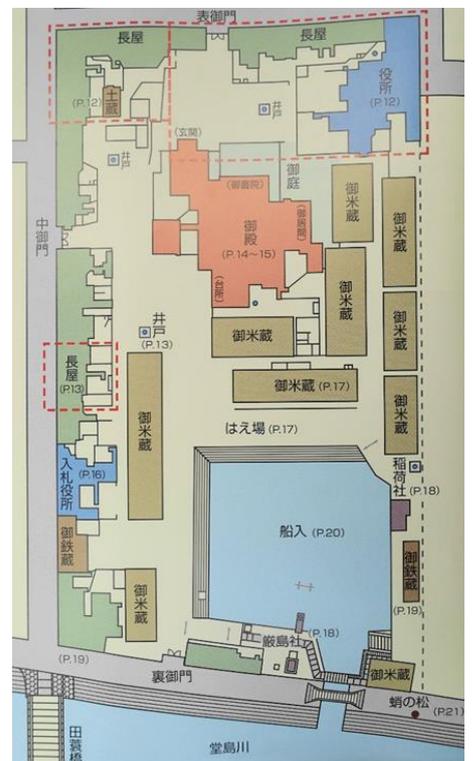
仲平が苦学した大坂蔵屋敷は「暗い」屋敷に非ざるない！

文政3年（1820）10月、21歳の息軒（通称：仲平）は、父の俳句の同人であった南村恵蔵（えそう）氏より恵与してもらった10両のお金を懐に、大坂に遊学します。10両といっても今でいえば50万円ほど…それで3年間学問に励むわけですのでぜいたくはできません。若き仲平は大豆をたくさん買い込み、それに塩と醤油だけで味付けをして煮ました。おかずはいつもこれだけ。人々はこの料理をいつしか「仲平豆」と呼ぶようになります。

大坂の学問の師は篠崎小竹。小竹は書家としても著名で、仲平の優れた力量と学才をすぐに見抜き、書よりも学問に励むようにアドバイスします。小竹は蔵書家でもありましたので、仲平は専ら本を借り、節約のため蔵屋敷の一室を借りて時間の経つのを忘れて学問に励みます。

しかしながら蔵屋敷といっても、令和2年度冬の企画展の折に調査したところ、いわゆる「米蔵、暗い屋敷」ではなく、飢肥藩の大坂の屋敷の一角にある長屋の一室を借りたものと想像されます。九州、四国、中国地方等の諸藩は参勤交代の折、海路で瀬戸内海を渡り、大坂に上陸します。そこからは東海道や中山道を通るので大坂に藩の宿泊所・役所・商社的な役割を果たす屋敷を、もちろん江戸や京都等にも屋敷を置きました。天下の台所大坂の屋敷には蔵が必須でしたので「蔵屋敷」と呼ばれたのです。仲平はこうした長屋の一室を借りて学問に励みました。右図は広島藩の蔵屋敷ですが、船入があったのは数藩で、飢肥藩にはありませんでした。

（文責：川口）



当時の蔵屋敷の見取り図
（大阪歴史博物館資料）

安井息軒顕彰書道展・絵画展・自由研究展

夏休みを利用して、作品づくりにチャレンジしてみませんか。

- ・応募期間：7月23日（金・祝）～8月31日（火）
- ・作品展示：9月18日（土）～11月7日（日）
- ・表彰式：特選・金賞 → 9月23日（木・祝） 会場：宮崎市清武文化会館 半九ホール
銀賞・銅賞 → 10月17日（日） 会場：宮崎市安井息軒記念館 研修室

※詳しい応募方法や課題については、次号の「息軒だより」、ホームページ等でご案内します。



参加してみよう

令和3年度 安井息軒記念館講座 予定表

各講座申し込み
受付中!!

| 日程 | 演題 | 講師 |
|------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 7/10 (土) | 宮崎の偉人シリーズⅠ 世界を脚気から救った男 高木兼寛 | 川口 眞弘 宮崎市安井息軒記念館 館長 |
| 8/28 (土) | 宮崎の偉人シリーズⅡ 宮崎が生んだ国民的歌人 若山牧水 | 川口 眞弘 宮崎市安井息軒記念館 館長 |
| 9/4 (土) | 安井息軒の著作『救急或問』にみる 政治思想 ※<ビデオ講座> | 青山 大介氏 中国 湖南大学岳麓書院 特聘副教授 |
| 10/2 (土) | 飢肥藩幕末の藩政と文教の担い手 阿萬豊蔵 | 那良 則人氏 放送大学大学院 歴史研究会 |
| 11/13 (土) | 明治維新 息軒の底力Ⅱ (仮) | 諸岩 則俊氏 NPO 法人安井息軒顕彰会 |
| 11/13 (土) | 幕末・明治の海防と国防 息軒の『海防論』と関連付けて | 甲斐 睦教氏 宮崎産業経営大学法学部 教授 |
| 令和4年 1/15 (土) | 安井息軒 江戸での活躍 | 金丸 里佳 宮崎市安井息軒記念館 学芸員 |
| 1/29 (土) | 安井息軒の漢詩をよむために | 山元 宣宏氏 宮崎大学教育学部 准教授 |
| 2/12 (土) | 明治期以降の伊東家 | 佐藤 智文氏 日南市生涯学習課文化財専門員 |

※各講座ごとのお申し込みです。各回とも定員 40 名まで受け付けます。定員に達し次第締め切りとなりますので、応募状況によってはご希望に添えない場合がございます。

安井息軒記念講演会 定員 100 名 ※要申し込み

- ・講師：山口 智弘氏（駒澤大学文学部 講師）
- ・演題：「安井息軒の『論』と『説』～息軒と共に人間の生活を見つめ直す～」
- ・日時：令和3年9月23日（木・祝） 10：00～11：45（予定）
- ・会場：宮崎市清武文化会館 半九ホール

※詳細については、「息軒だより」、ホームページ等でご案内します。



※各行事の内容、日程につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候等の諸事情により 変更になる場合があります。予めご了承ください。

お申し込み、お問い合わせは安井息軒記念館（0985-84-0234）まで。



令和3年度 通常総会（書面表決）の開催

5月22日（土）に令和2年度の役員が書面を開封し、全ての議案【令和2年度事業・決算報告書、令和3年度事業・予算（案）、令和3-4年度役員選任（案）】が全員一致で承認されました。
次年度は対面で開催したいものです。



臨時理事会で令和3-4年度役職が決定

承認された理事の互選により理事長、副理事長が決定され、理事長任命で事務局長、事務局次長等も決定しました。新役職は以下の通りです。2年間どうぞよろしくお祈りいたします。

| 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 |
|-------|------|-------|-------|----|-------|
| 理事長 | 齋藤義輝 | 事務局次長 | 徳村光郎 | 理事 | 吉川妙子 |
| 副理事長 | 黒木幸英 | 理事 | 岩切 哲 | 理事 | 金丸美記子 |
| 副理事長 | 川口眞弘 | 理事 | 櫛間幸義 | 理事 | 寺田良正 |
| 事務局長 | 黒木幸英 | 理事 | 富永りつ子 | 理事 | 日高俊一 |
| 事務局次長 | 川口正子 | 理事 | 野崎幸士 | 監事 | 長野智愛子 |
| 事務局次長 | 近藤芳文 | 理事 | 野崎清春 | 監事 | 石野田幸蔵 |



令和3年度 第1回関係機関との意見交換会

安井息軒記念館及び安井息軒顕彰会の業務運営を多角的に連携した効果的な事業としていくため、令和3年4月21日（水）の午後、記念館研修室で、教育機関団体（小中学校、大学、専門学校）地域団体（まちづくり協議会、老人クラブ、自治会、青少年育成協議会）の代表者と、顕彰会・記念館の幹部による意見交換会を行いました。各種の提案や要望があり、実現できる内容から連携推進してまいります。



安井息軒旧宅の清掃と梅ちぎり



5月9日（土）の旧宅清掃終了後に、役員や会員による恒例の梅ちぎりを行いました。今年は多くの実が収穫できましたので、夏休みこども息軒塾の参加者や梅まつり等で来館される方々へ、手づくりの梅ジュース提供や梅干しの振る舞いができそうです。今後の清掃日は7月24日（土）、8月7日（土）、9月19日（日）の午前8時から9時30分までです。ボランティアの参加連絡をお待ちしています。



<引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。



会員随時募集中

NPO 法人 安井息軒顕彰会では新規会員を随時募集しています。お問い合わせは右記事務局まで。

年会費

- 一般会員 2,000 円
- 賛助会員 1,000 円
- 学生会員 500 円
- 団体会員 5,000 円（1口）



※会員の近況報告、情報提供などがありましたら、事務局までご連絡ください。

☆安井息軒顕彰会では、安井息軒旧宅清掃や記念館行事への協力等の活動を行っています。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

NPO 法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1
（宮崎市安井息軒記念館内）

電話：0985-84-0234 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

